LIXIL 室内ドア ライン枠用コンパクトドアソフトモーション 取付け説明書

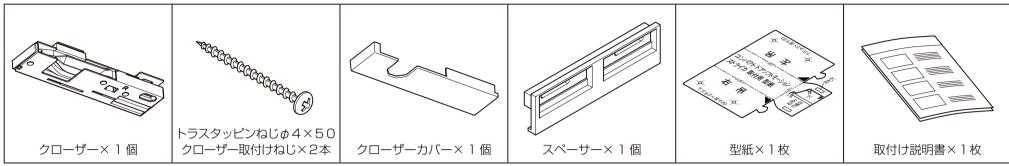
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願い

- ●本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。 締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- ●本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)

■部品・部材の明細

●枠セット



●本体セット(別梱包)



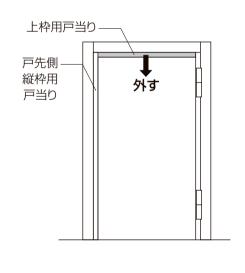


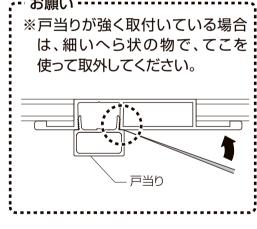
■取付け順序(以下手順は右吊元の場合を示します。)

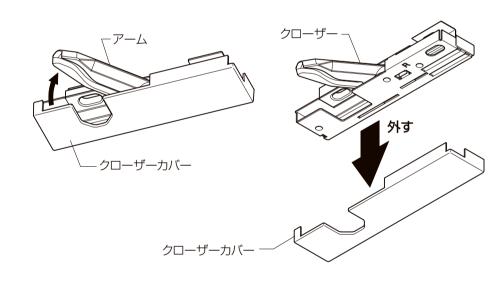
■クローザーの取付け

①既にドア枠が取付いている場合は、上枠用戸当りを取外してください。

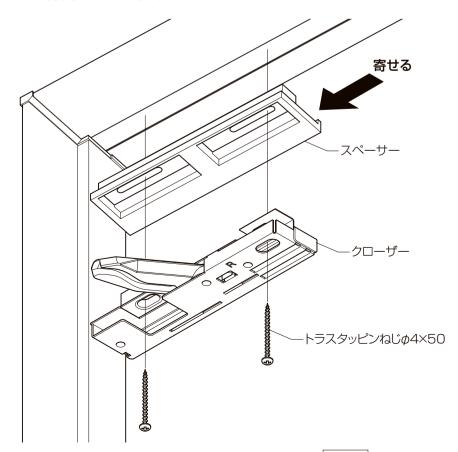
②アームを引出し、クローザーカバーを取り外してください。



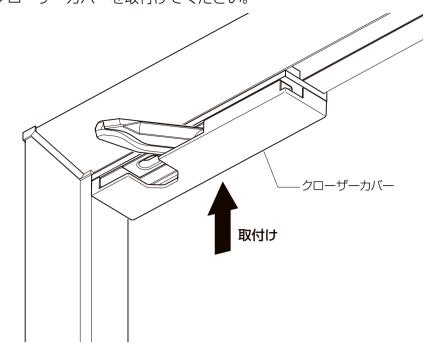




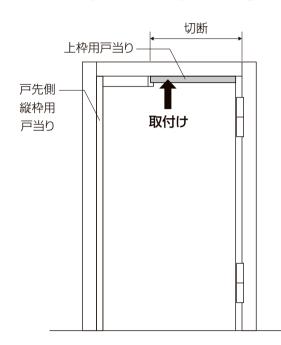
③クローザーとスペーサーを重ね、縦枠に寄せた位置で同梱のねじ(トラスタッピンねじ ϕ 4×50)で共締め固定してください。 ※スペーサー取付け位置にある枠固定ねじは取外してください。



④クローザーカバーを取付けてください。



⑤上枠戸当たりを現物に合わせて切断し、取付けてください。



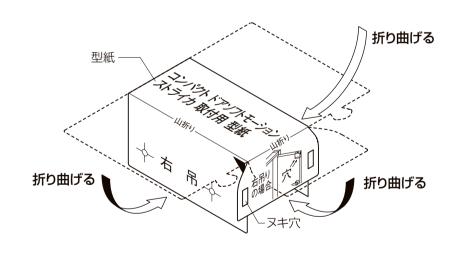
....お願い ------

※戸当りの取付けに接着剤を使わないでください。接着剤で固定すると、クローザー交換時に手間がかかります。(クローザーがあるため、接着剤固定は不要になります。)

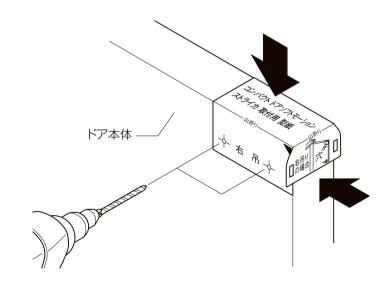


☑ストライカの取付け

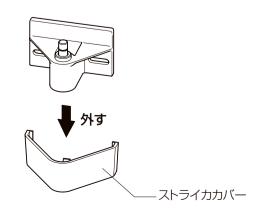
①型紙を折り曲げて、下図の形にしてください。



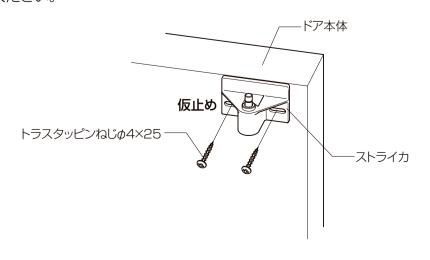
②ドア本体の戸先上コーナーに型紙をかぶせ、下穴 ϕ 3×深さ20(アルミドアの場合は ϕ 3.5片面貫通)をあけてください。



③ストライカカバーを取外してください。

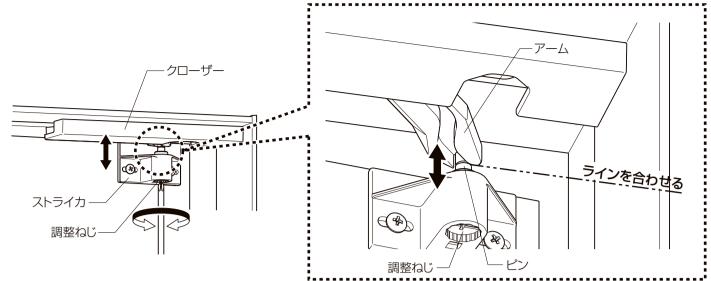


④ドア本体にストライカを同梱のねじ(トラスタッピンねじ ϕ 4×25) で仮止めしてください。



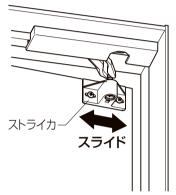
3 ストライカの位置調整

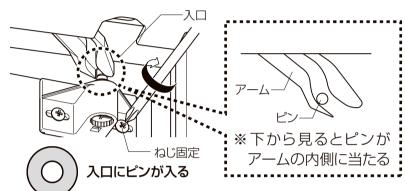
①ストライカ下面の調整ねじを回して、ピンのラインがクローザーのアームの下面に合うように調整してください。

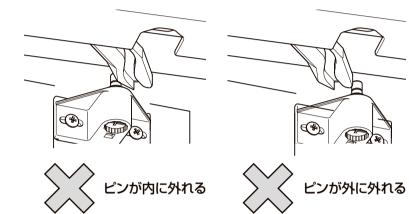




②ストライカを左右にスライドさせてアームの入口にピンが入る位置でねじを固定してください。







③ストライカカバーを 取付けてください。



※明り採り付き本体 ①明り採りを取外す ②カバーを取付ける ③明り採りを取付ける の場合、明り採りを 取外してから、スト ライカカバーを取 付けてください。







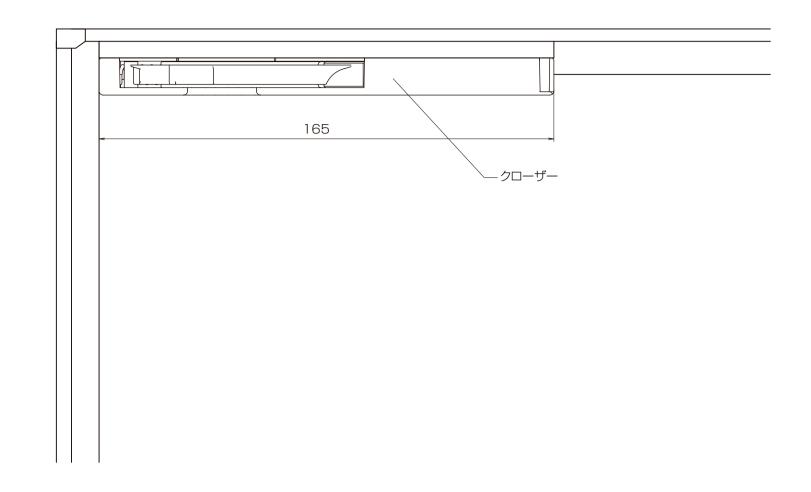
コンパクトドア ソフトモーション 調整方法動画 🔳

■ソフトモーション機能異常時の対処方法

現象	要因	対 処		参照
閉まりきらない	アームとストライカの位置 ズレ	上下方向	上下調整でストライカのラインとアームの 下面を合わせてください。	3 ①参照
		左右方向	アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピ ンが通過するように合わせてください。	3 ②参照
	極端に強い換気扇や風が吹いている	・換気扇を弱める。・強風が入ってこないように窓を閉める。		_
	クローザーカバーとストラ イカが接触している	丁番の上下調整でドアを下げてください。		室内ドアの取付け説明書を 参照お願いします。
	ドア本体が反っている	丁番の建付調整を行なった上で、ストライカの調整を行なってください。改善されない場合、ドア本体の交換が必要です。		室内ドアの取付け説明書を 参照お願いします。
(開けるとき)アームが戻る	アームとストライカの位置 ズレ	上下方向	上下調整でストライカのラインとアームの 下面を合わせてください。	3 ①参照
※誤作動時の復帰は一度ドアを 強く閉めると戻ります。		左右方向	アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピ ンが通過するように合わせてください。	3 ②参照
ブレーキの効きが個所ごとに違う	— (商品特性上)	本体の重量、建付け、風の強さ・向きにより同一にはなりません。		_
ブレーキが全く効かない	ダンパーの破損	クローザーの交換が必要です。		_
	ストライカピンの故障	ストライカの交換が必要です。		_
強く閉めると丁番部があおる	— (商品特性上)	商品品質上問題ありません。ただし、繰返し行なうと丁番 取付け部がグラつきますので、お控えください。		_

納まり図

(正面図)



〔縦断面図〕

